

山際経済再生大臣辞任

岸田総理の任命責任、 対応の遅れを追及!



笠ひろふみ

りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣

国づくりなし”の信念の下、引き続きがんばってまいります。

後半国会では、子育てや教育政策についても”人づくりなくして

臨時国会では、内外の多くの課題について本格的に論戦が展開されています。こうした中で、旧統一教会との関係が相次いで判明した山際経済再生担当大臣が辞任しました。事実上の更迭です。山際氏は、岸田政権の看板政策である新しい資本主義や新型コロナウイルス対策を担当してきました。岸田総理が8月の内閣改造で、山際氏を留任させた任命責任は厳しく問われなければなりません。さらには、山際氏の旧統一教会との接点が報道などで次々と発覚したにもかかわらず、物価高への対応を中心とした総合経済対策のとりまとめを担当させるなど、岸田総理の山際氏を辞めさせる判断の遅れが、国会審議の混乱を招きました。

複数の自民党議員が国政選挙の際、旧統一教会の関連団体と事実上の政策協定を結んでいた問題について、岸田総理は、党として実態を調査することを拒んでいます。寺田総務大臣や秋葉復興大臣の、政治とカネを巡る問題も明らかになりました。「信頼と共感の政治」を掲げる岸田総理に対して、こうした疑惑の解明に向けて指導力を発揮することを強く求めたいと思います。

11月下旬には総合経済対策に伴う第2次補正予算案の審議を行います。物価上昇に対応するために電気・ガス代の負担軽減や子育て支援などが盛り込まれています。本来ならば、国会をもっと早く召集して、補正予算の執行を急ぐべきでした。30兆円近い予算の財源の大半は、国の借金である赤字国債です。規模ありきで議論が進められた形跡もあり、ムダづかいのない本当に国民のためになる予算になっているのか、国会論戦を通じてしっかりとチェックしてまいります。

2021年度の不登校の小中学生が過去最多の24万4940人になりました。前年度から約25%（4万8813人）も増えています。10年前と比べてほぼ倍増しています。急増の原因として、長引くコロナ禍のストレスも指摘されています。





国会活動

国会対応の先頭に立つ!

10.19 自民党との国対委員長会談

旧統一教会などによる高額献金や靈感商法の被害者救済に向けた法案について議論する与野党協議会の設置を決定しました。



10.21 自民、公明、立憲、日本維新の会による与野党協議会初会合

今国会で救済法案を成立させることを確認しました。

立憲民主党と日本維新の会はすでに「悪質献金被害救済法案」を提出しています。この中では、マインドコントロール下での高額献金などの要求を「特定財産損害誘導行為」として規定し、罰則付きで禁じています。また、本人だけでなく、配偶者や子どもなど「特別補助人」が返金を求めることを可能としています。与党側が骨抜きの内容にしないようにしっかりと対応してまいります。



10.26 本会議前の代議士会

前日に山際経済再生大臣が辞任したことを受けて、急ぎよ本会議で岸田総理が経緯を説明した上で、謝罪しました。閣僚の辞任について本会議で総理が説明することは極めて異例です。



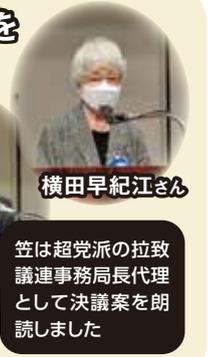
10.27 衆院議院運営委員会理事会

安倍元総理の国葬を検証する与野党協議会を設置しました。

政府関係者や有識者のヒアリング等を行い、今国会の会期末をめどに一定の結論を出す方針です。岸田総理は、国会での議論を全く行わずに国葬を決定しました。私は、国葬を決定するためには、少なくとも国権の最高機関である国会の議決が必要だと考えます。今回の決定に至るプロセスの問題点などを整理し、国会の関与の必要性について議論します。



全拉致被害者の即時一括帰国を 求める国民大集会 10.23



横田早紀江さん

笠は超党派の拉致議連事務局長代理として決議案を朗読しました

麻生区

来年4月の川崎市議会議員選挙に向けて全力で活動中!!

多摩区



あまがさ裕治市議



こぼりか子市議



鈴木朋子市議



しまだ和明さん



田倉俊輔さん